「生涯学習センター」改修工事基本設計受託者

畝森＋teco設計共同体

畝森泰行建築設計事務所

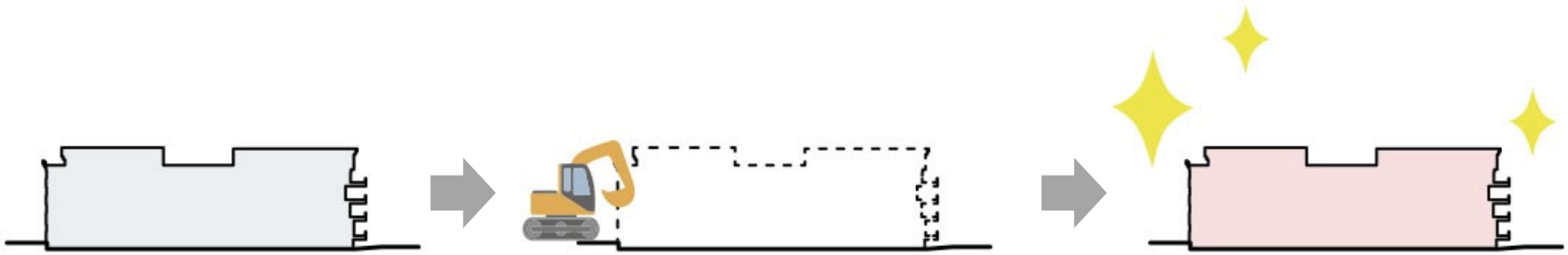
UNEMORI ARCHITECTS

teco

１．これからの公共建築

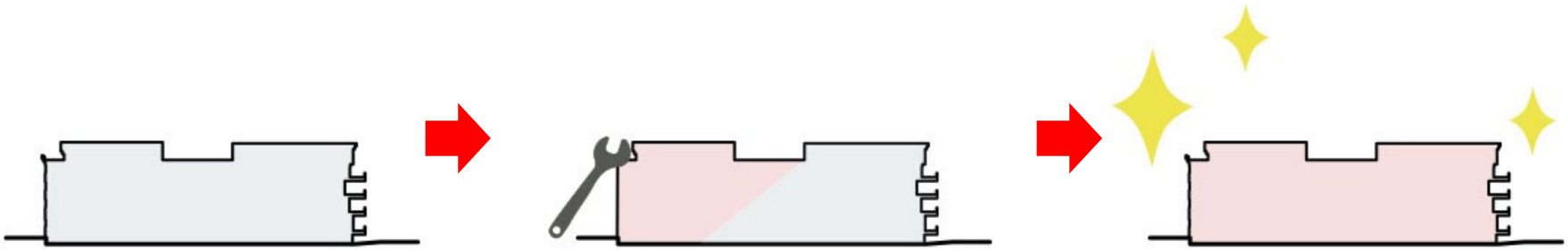
２．これからのまなびタウン

従来型改修：全解体工事と躯体新築工事を繰り返す



既存建物　全解体工事　躯体新築工事

長寿命化型改修：躯体を再利用し建物を長く使う



既存建物　部分解体工事　躯体を再利用する改修工事

建物の長寿命化の考え方は県内にも広がりつつあります。

米子市公会堂

守口市立図書館

青森県庁舎

真庭市立中央図書館

全国的に屋外の居場所を持った公共建築の必要性や重要性が高まっています。

杉並区中央図書館：テラスで思い思いの時間を過ごす

延岡市駅前複合施設エンクロス：半屋外空間で談笑する

2．これからのまなびタウン　-ヒアリングから考える-

計34回のヒアリング、WS、モノコトラボ意見収集から200を超える意見をいただきました。

20.10.23

20.10.23

20.10.26

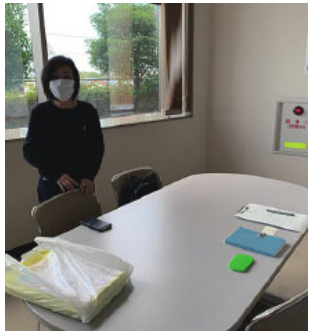
20.10.26

20.11.05

20.11.05

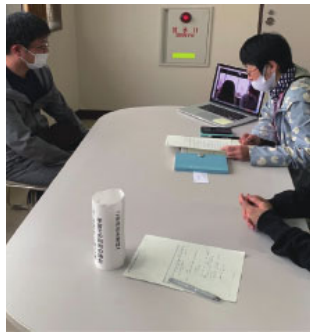
20.11.05

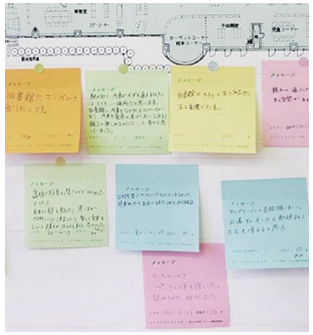
20.11.19


20.11.20

20.11.29

21.03.26


21.04.03

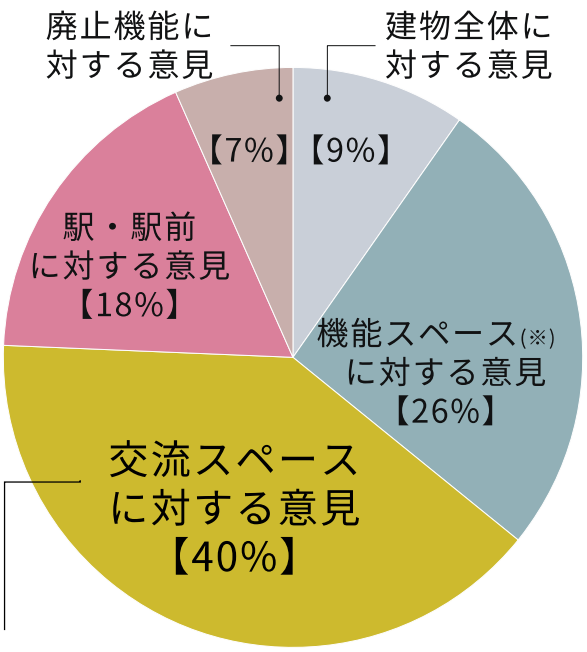

モノコトラボ

20.10（第2回WS）

20.12（第3回WS）

40%が交流スペースに対する意見であり、

また、大半の町民から、施設に改善を求める声が挙がっています。

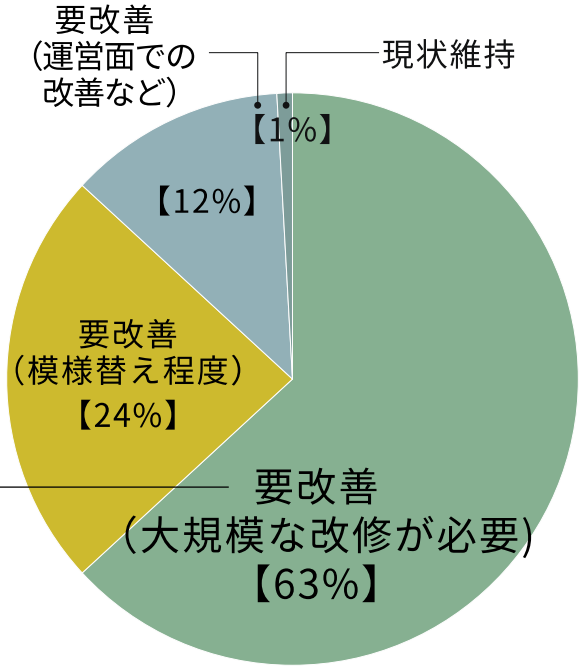


例）

・おしゃべりするスペースが欲しい

・0～100歳までくつろげるスペースが欲しい

対象箇所からみる町民意見グラフ



例）

・駅からの視認性を良くして欲しい

・テラスで本が読めると良い

・子どもを遊ばせながら親も本を読める場所が欲しい

改修程度からみる町民意見グラフ

（※）機能スペース：図書館、多目的ホール、屋内遊び場など

外観イメージ

西側外観　テラスに町民の賑わいがあらわれ施設の顔をつくる

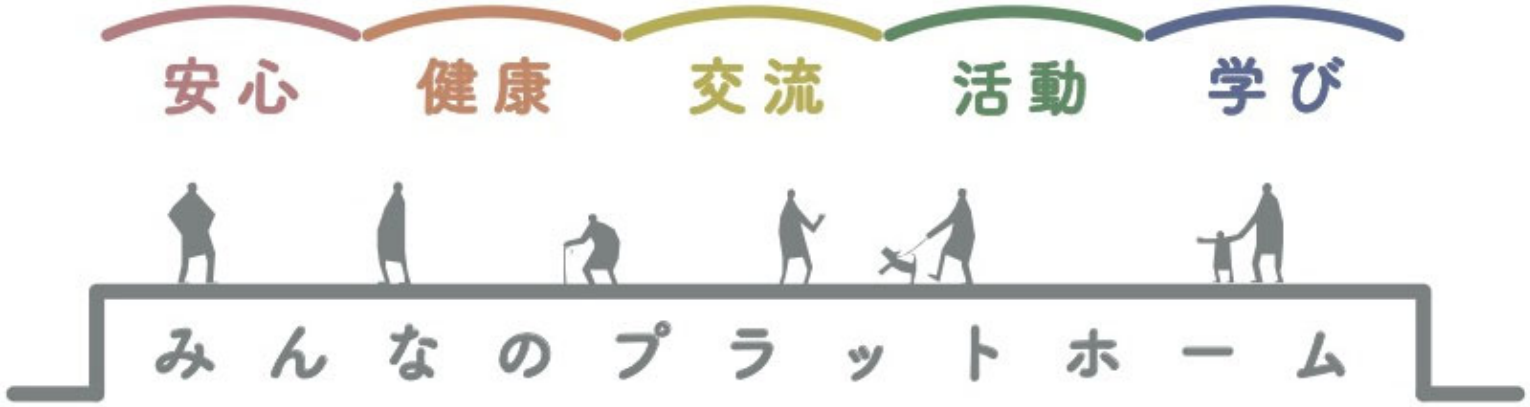
① 安心・安全な、町民の拠り所となる施設

② 外気を取り入れられるしつらえとし、健康に寄り添う施設

③ 様々な人と出会い多世代が繋がる、交流を促す施設

④ 屋外との一体利用を見据え、屋内の活動が表出する施設

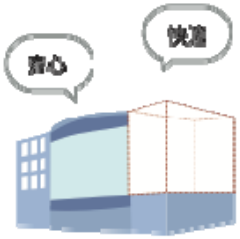
⑤ 本や資料の知識にふれ、多様な学びを楽しむ施設



建築設計における5つの方針

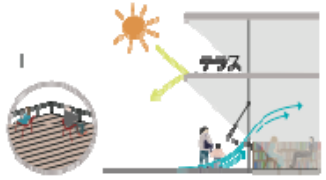
1 安心

災害時の拠点としての機能



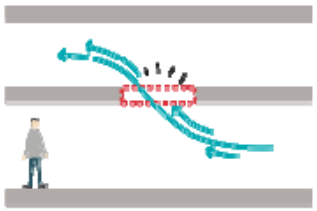
2 健康

健康へ向かう居場所となるテラス



3 交流

交流を導く吹き抜け

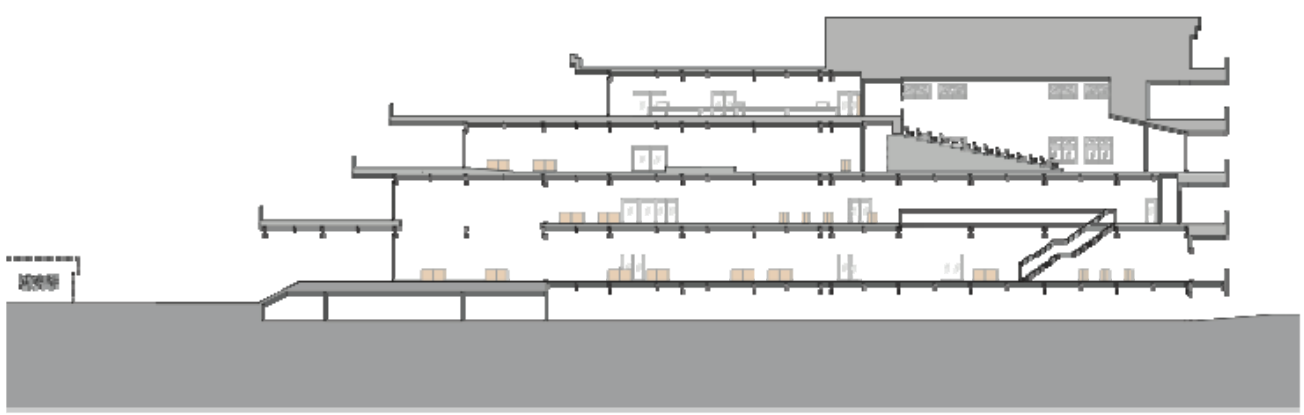


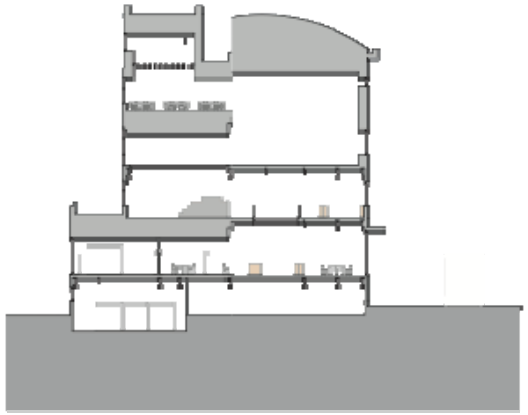
4 活動

町の顔となるエントランス

5 学び

南北をつなぐ「まなび」の本棚





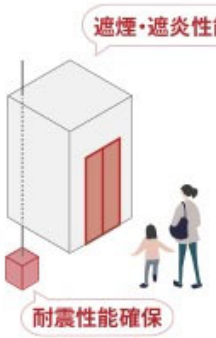
建築設計における5つの方針

1 安心

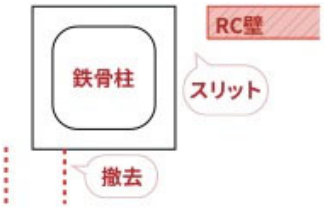
災害時の拠点としての機能

①特定天井の耐震性能の確保

②EVの遮煙・遮炎性能と耐震性能の確保



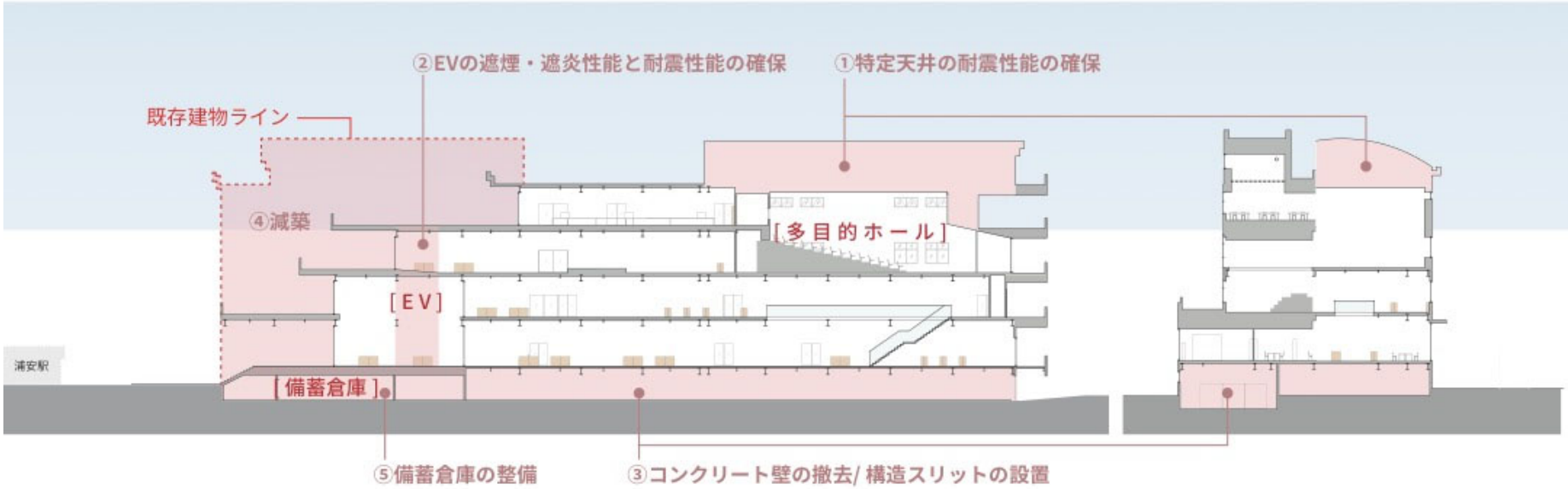
③コンクリート壁の撤去または構造スリットの設置



④減築

屋内をテラスに転用した事例

⑤備蓄倉庫の整備

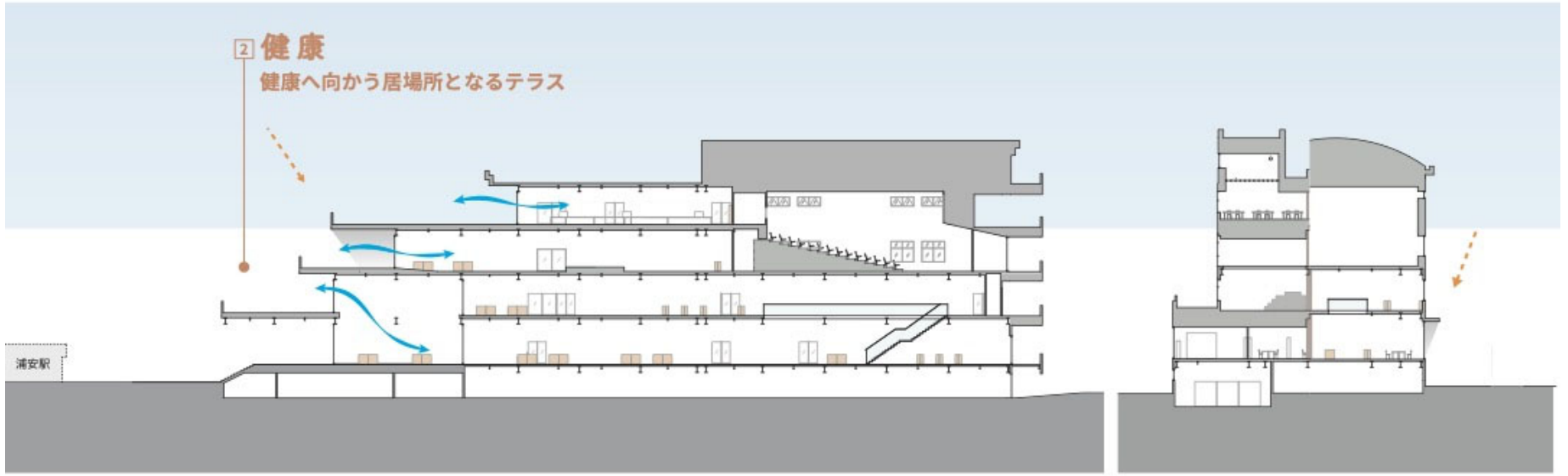


2 健康

健康へ向かう居場所となるテラス

須賀川市民交流センター（福島県）

屋外での茶道体験

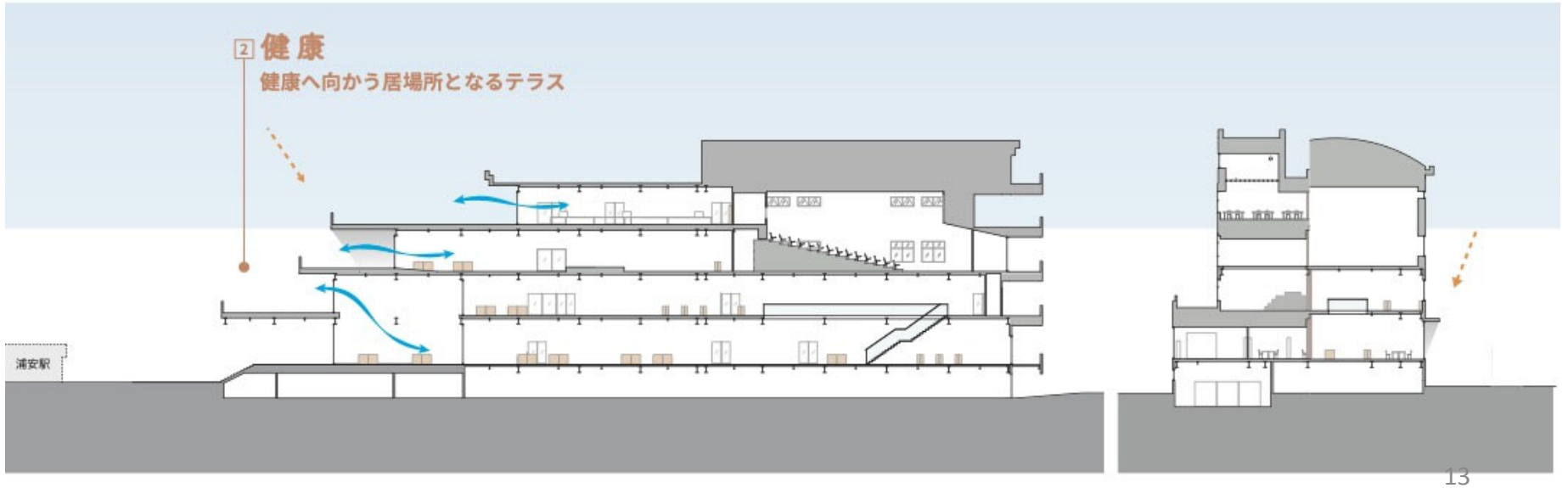


2 健康

健康へ向かう居場所となるテラス

那須塩原市まちなか交流センター（栃木県）

塩尻市立図書館（長野県）

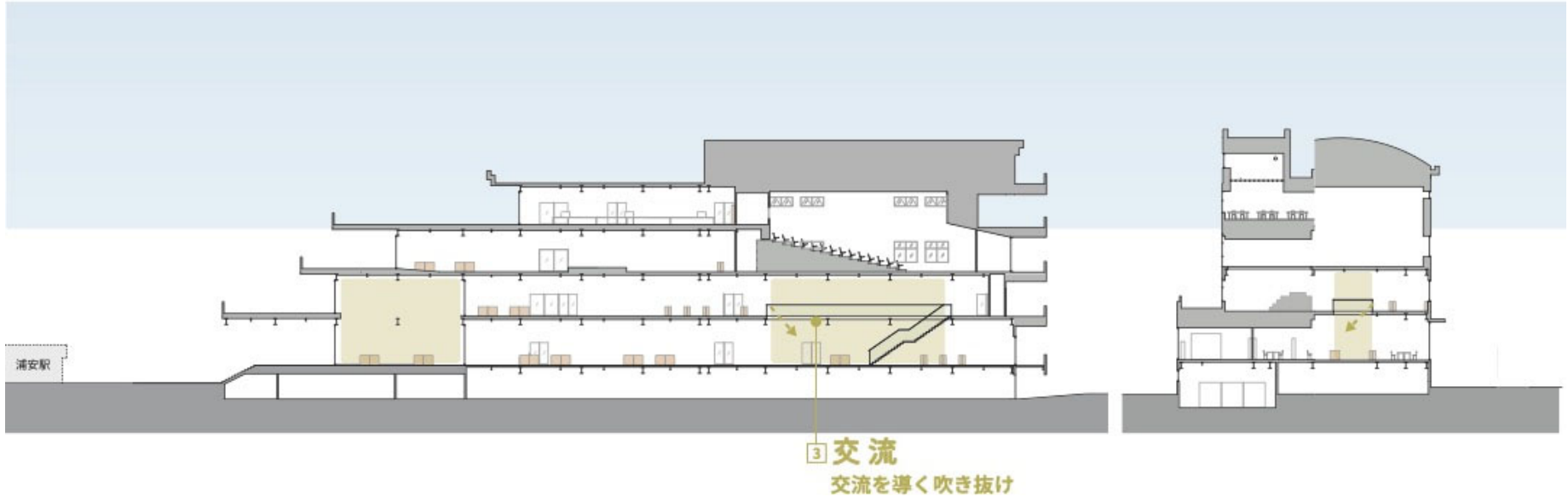


3 交流

交流を導く吹き抜け

須賀川市民交流センター（福島県）

塩尻市立図書館（長野県）



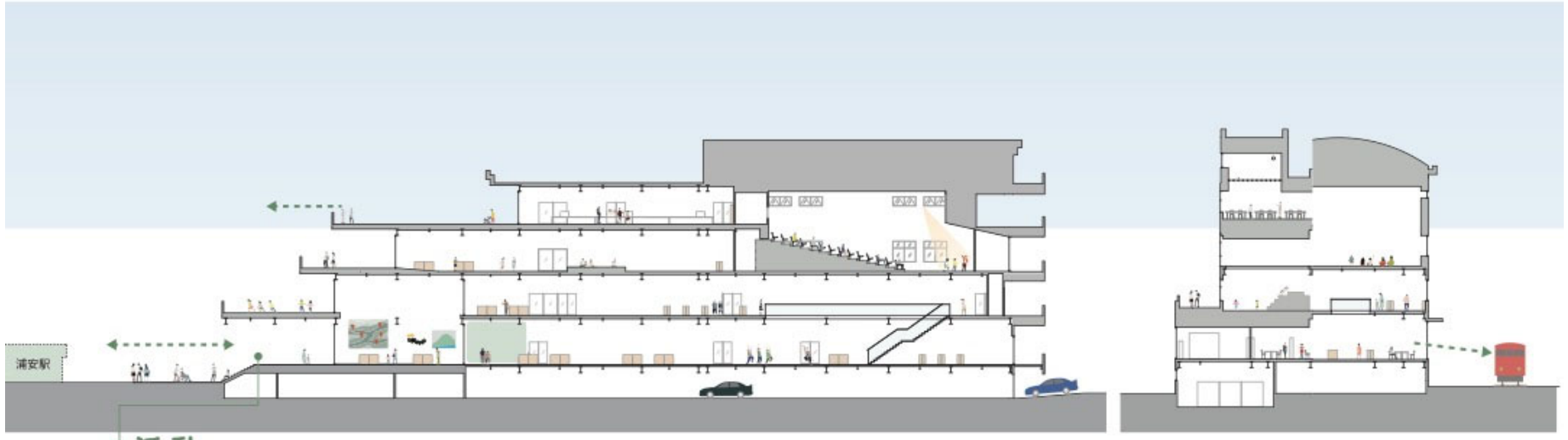
建築設計における5つの方針

4 活 動

町の顔となるエントランス

須賀川市民交流センター（福島県）

那須塩原市まちなか交流センター（栃木県）



4 活 動

町の顔となるエントランス

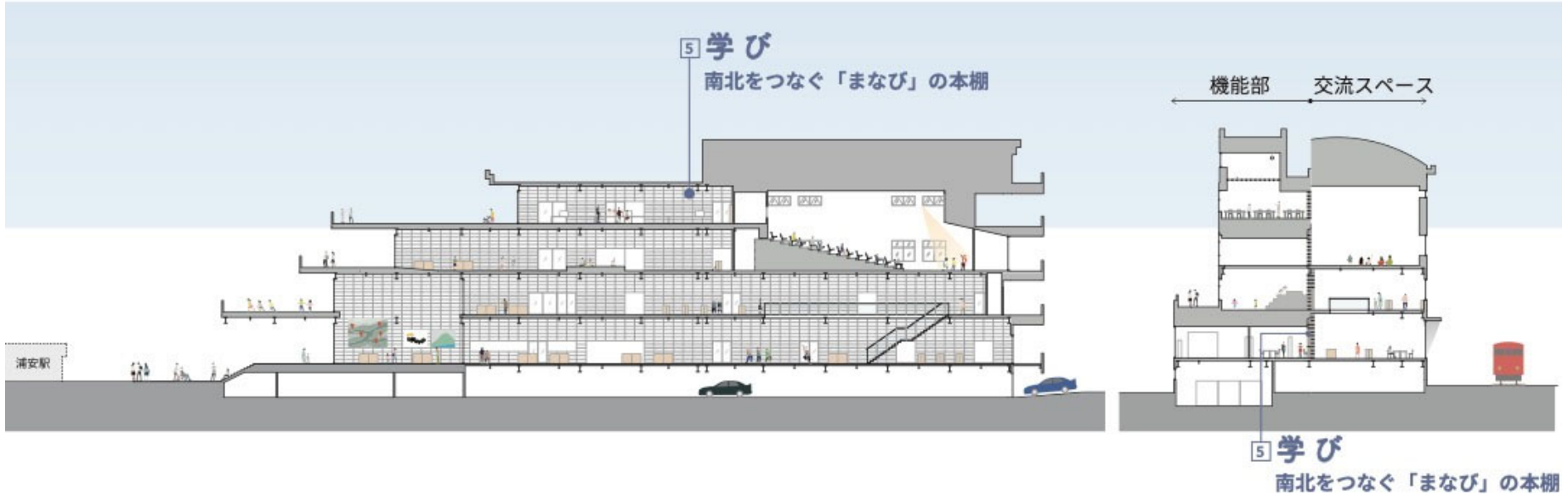
5 学び

南北をつなぐ「まなび」の本棚

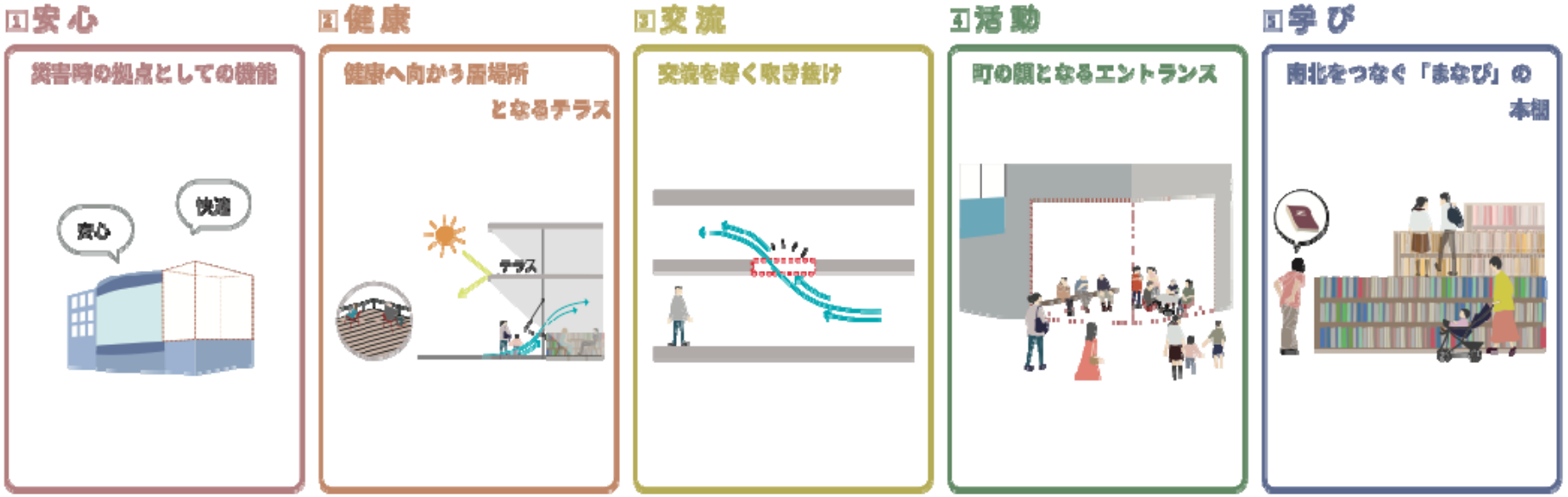
人の居場所が少ない現在の図書館

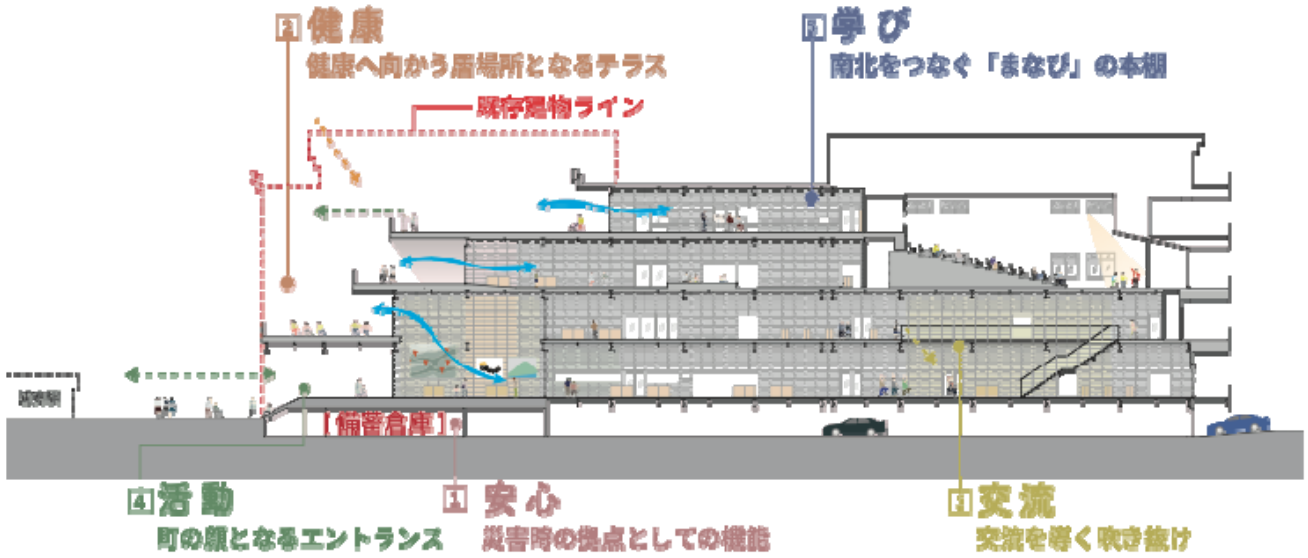
こどもの遊び場に絵本が置かれる

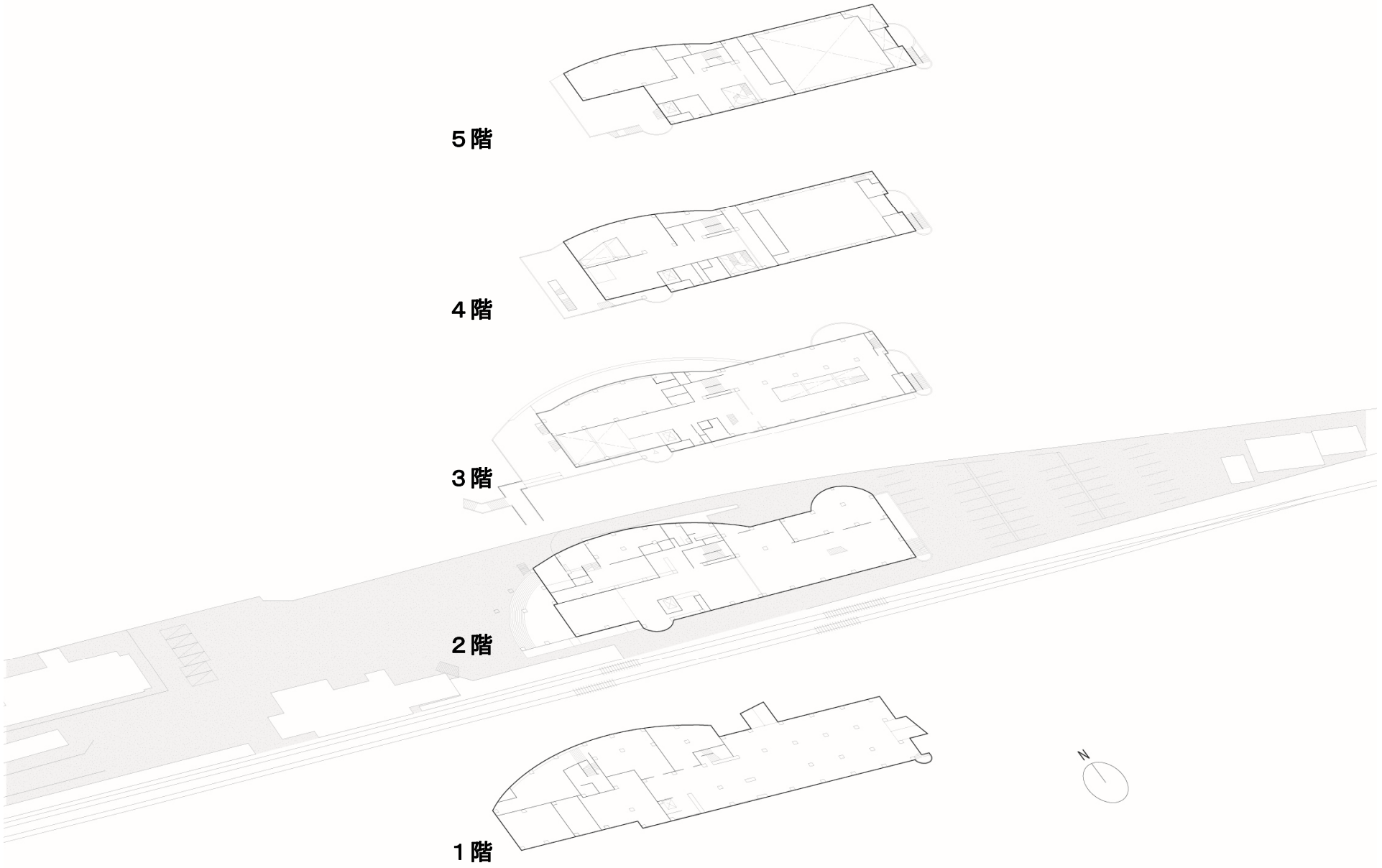
貸し室前に関連書籍が置かれる



建築設計における5つの方針

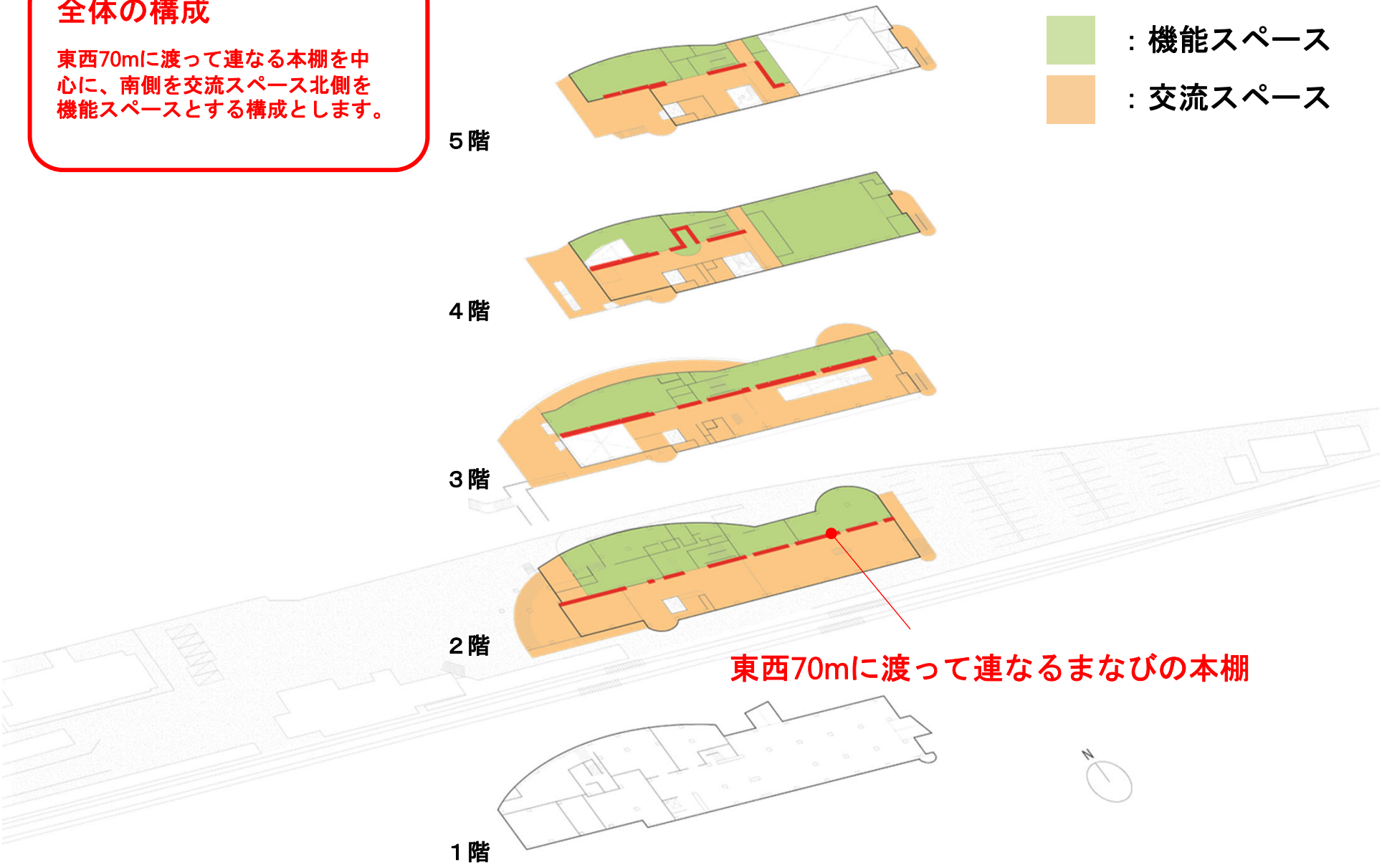





５階
４階
３階
２階
１階
N

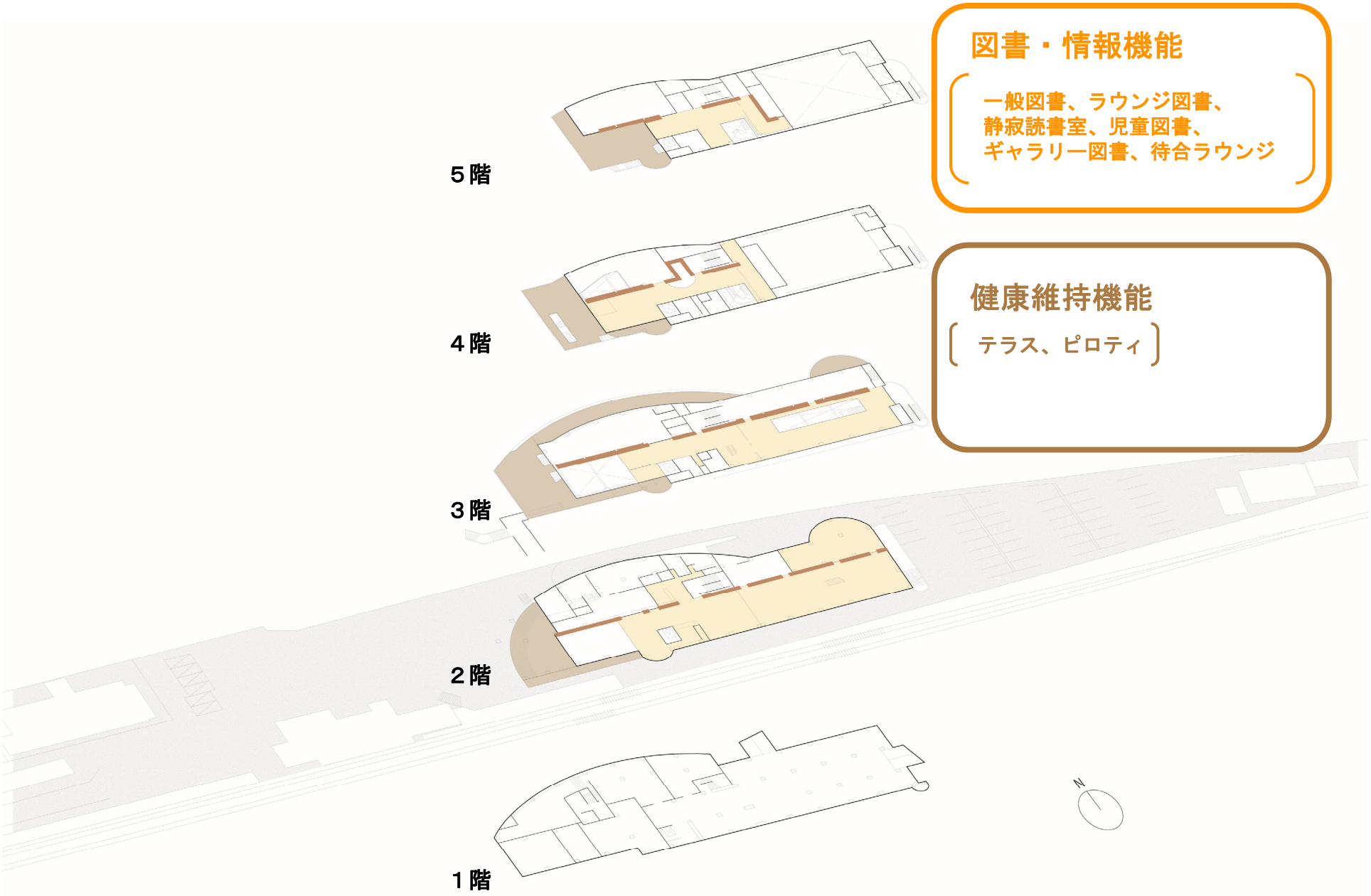
全体の構成

東西70mに渡って連なる本棚を中心に、南側を交流スペース北側を機能スペースとする構成とします。



内観イメージ

２階ラウンジ図書　様々な世代の交流の場となる



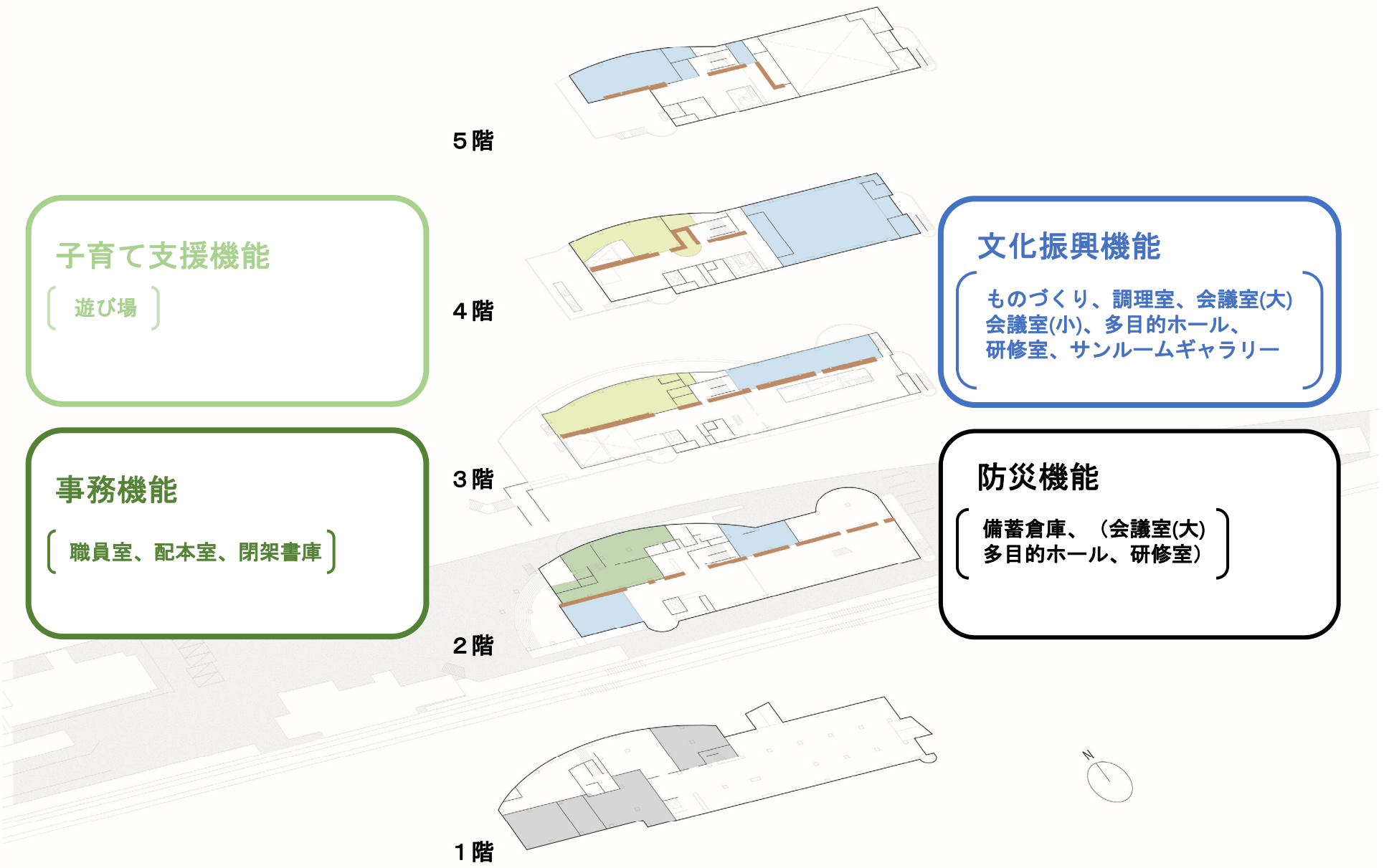
図書・情報機能

一般図書、ラウンジ図書、
静寂読書室、児童図書、
ギャラリー図書、待合ラウンジ

健康維持機能

テラス、ピロティ

全体構成



子育て支援機能

遊び場

文化振興機能

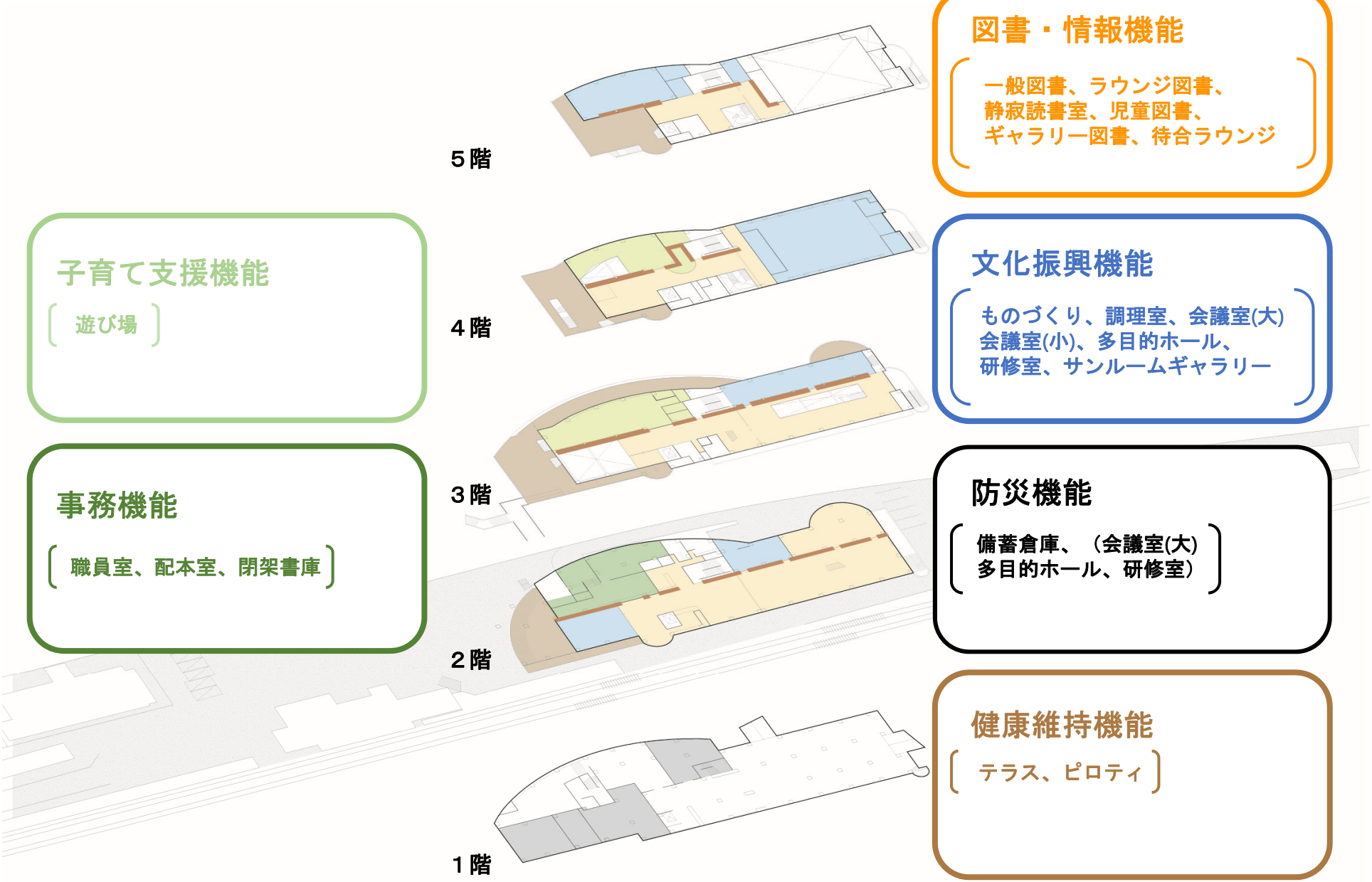
ものづくり、調理室、会議室(大)
会議室(小)、多目的ホール、
研修室、サンルームギャラリー

事務機能

職員室、配本室、閉架書庫

防災機能

備蓄倉庫、（会議室(大)
多目的ホール、研修室）



図書・情報機能

一般図書、ラウンジ図書、
静寂読書室、児童図書、
ギャラリー図書、待合ラウンジ

文化振興機能

ものづくり、調理室、会議室(大)
会議室(小)、多目的ホール、
研修室、サンルームギャラリー

防災機能

備蓄倉庫、（会議室(大)
多目的ホール、研修室）

健康維持機能

テラス、ピロティ

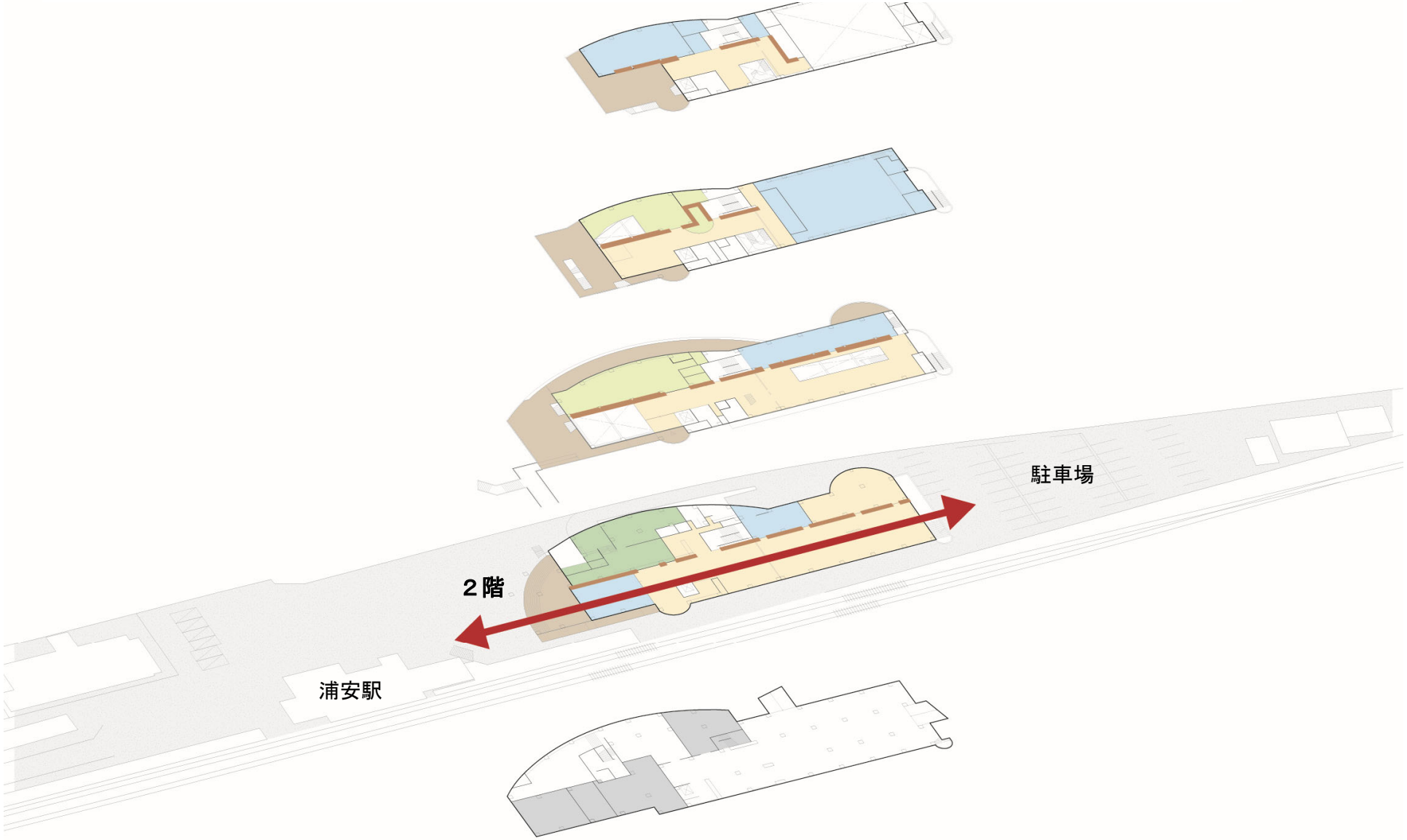
子育て支援機能

遊び場

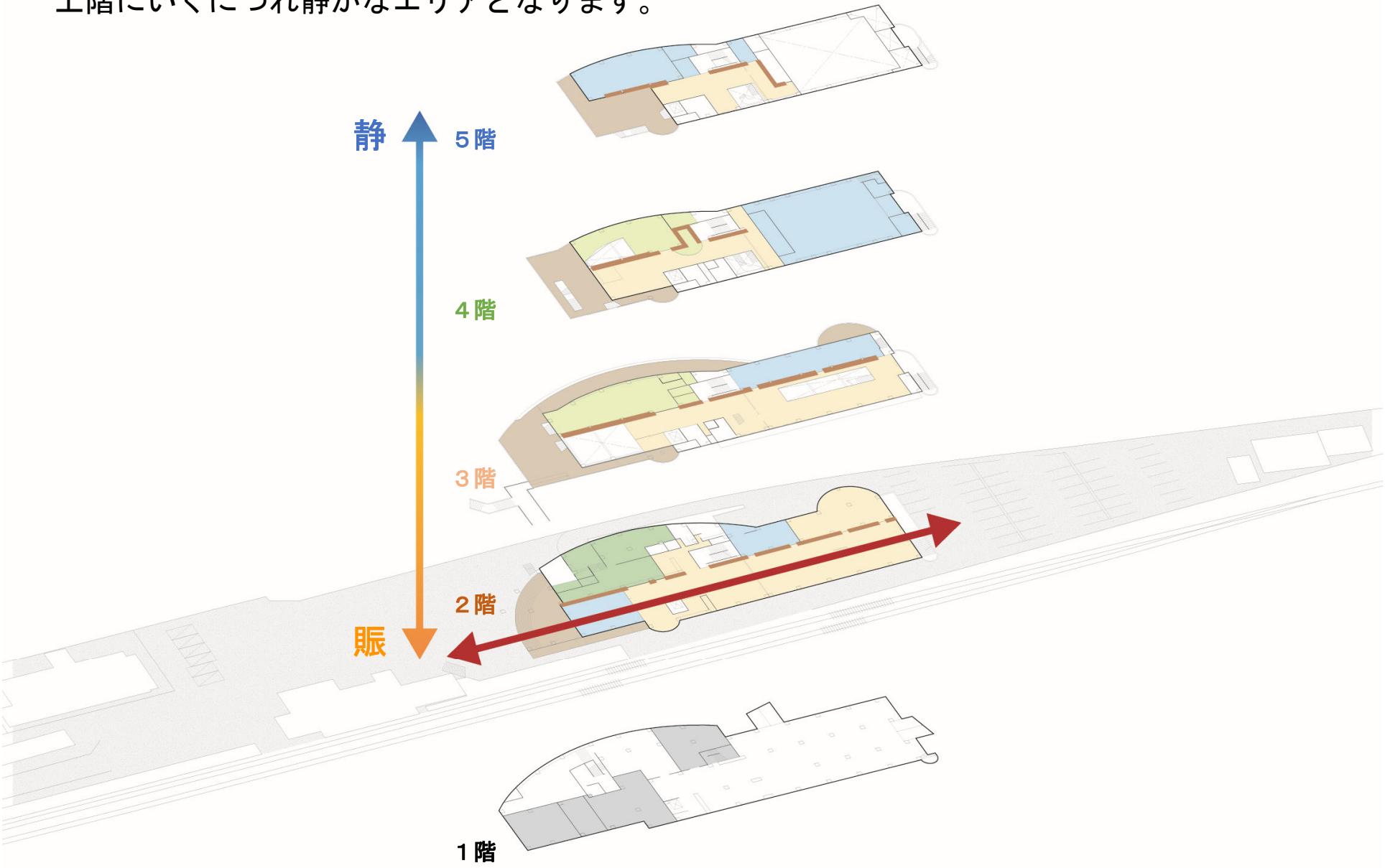
事務機能

職員室、配本室、閉架書庫

2階の交流スペースは、東西約70mに渡って視線が抜ける象徴的な空間となります。

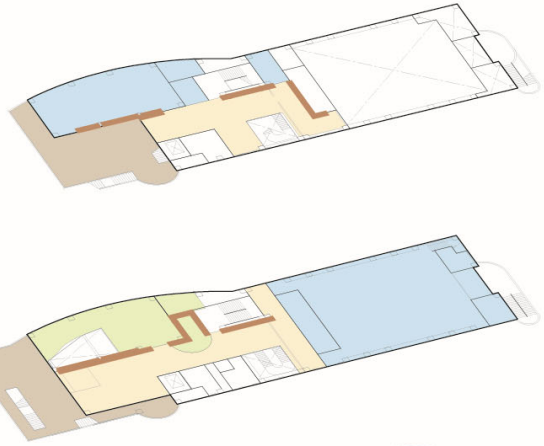


上階にいくにつれ静かなエリアとなります。



施設の全体構成

図書館に併設された資料館の展示空間



静かな静寂読書室

貸室前には関連する書籍が配架

個人で利用する学習空間

多様な会議体に対応可能なラウンジ

多世代が集まるエントランスロビー

２階平面図

多様な図書空間【ラウンジ図書】

・様々な年代が集う、隙間時間を楽しく過ごせる場

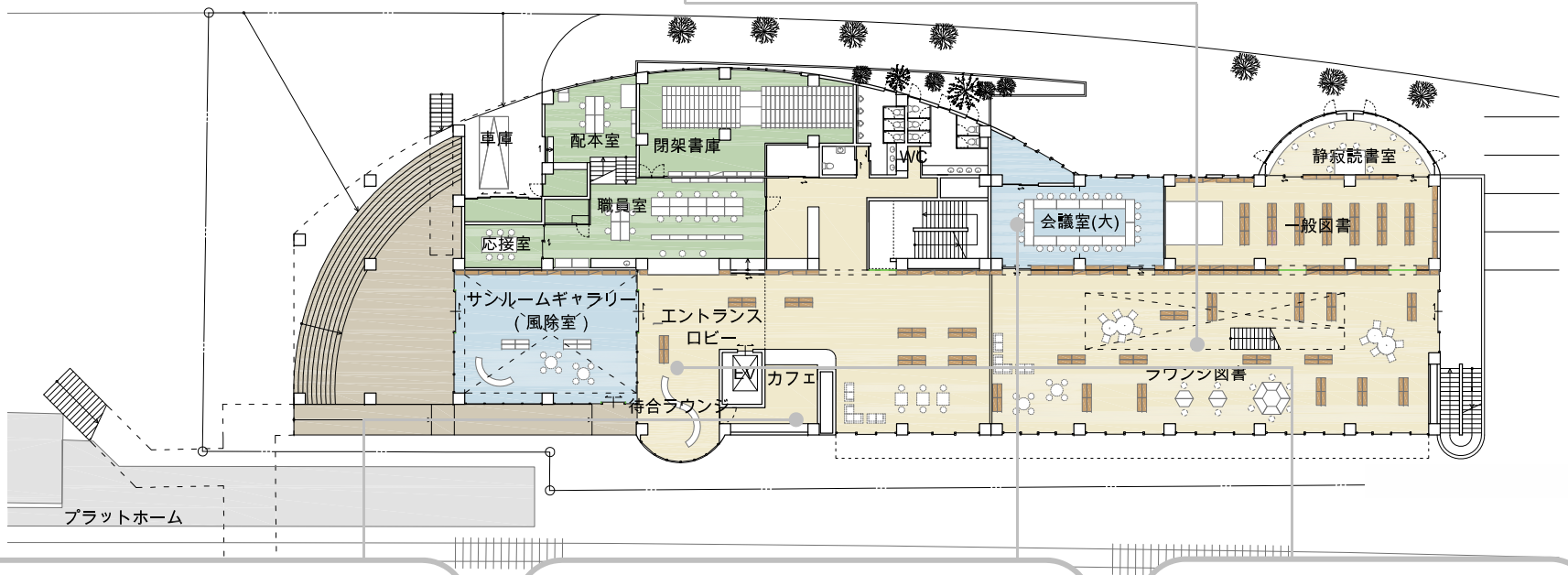
・グループワークやイベントなどの活動にも対応

全館配架・テーマ配架

・各階に図書を分散配置します

・複層建築の特徴を生かしてフロアテーマを設定

・多様な居場所を持った図書空間です



多世代が集えるカフェ

・誰でも利用できるカフェをエントランス近くに設置

・目的がなくても自由に出入りできる

可変式の会議室

・活動に応じて、広い空間と仕切られた空間を選択できる

・パーテーションを用いて様々な利用方法利用人数に対応

待合ラウンジ

・駅の待合コーナーを兼ねたラウンジを配置

・町内外での町民の活躍が見られる場となる

２階イメージ

2階ラウンジ図書 イベント時　使い方に合わせて書架の配置を柔軟に変更

３階平面図

機能に対応した図書空間

・遊び場の近くに児童図書を配置

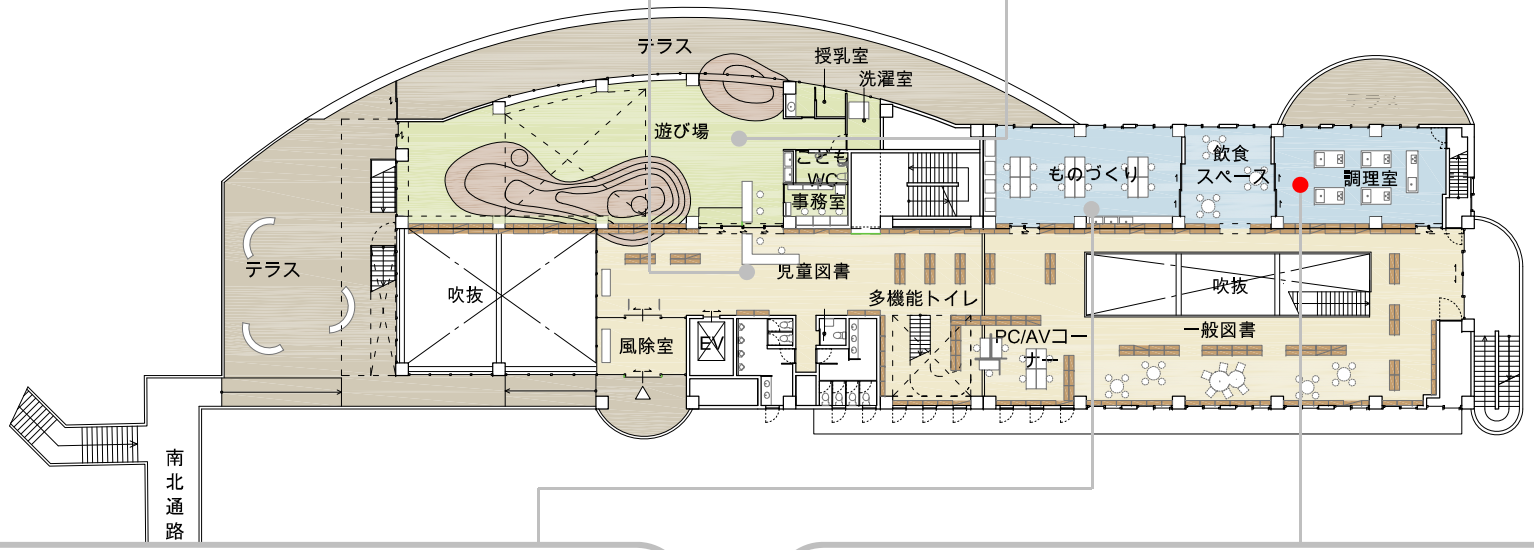
・東側のものづくりや調理室の周辺に関連書籍を配架

子どもが集う屋内遊び場

・天候に左右されず遊べる屋内遊び場

・本棚から展開した棚田状の特徴的な遊具

・遊具は一部室外や屋外へと延長



ものづくり

・子どもから高齢者まで、触れ合える場

・3Dプリンタやレーザーカッターなどの
最新機器の導入も検討

調理室・飲食スペース

・飲食スペースと連続するしつらえ

・一体利用も可能

３階イメージ

3階遊び場　天候にかかわらず遊べる子どもたちの新たな居場所となる

屋内遊び場について

①ぼんちネット

うねうねした床を一部くり抜いたネット遊具です。
ネットではジャンプやかけっこをして遊ぶことができます。
ネットは年に一回の点検・補修により長期にわたって
安全に使うことができます。

②たきのぼりネット

3階、4階をつなぐタワー状のネット遊具です。
登り降りして遊ぶことができます。

③そとやまステップ

隆起した丘の遊具です。
屋外と連続することで、椅子としての利用や、机として
使用ができます。

④おおやまステップ

本棚が遊び場にとびでたような山の形をした遊具です。
自然素材の木の風合いが温かみのある空間を作ります。
また、段差に緩急をつけることで多様な活動を行えるよ
う計画します。

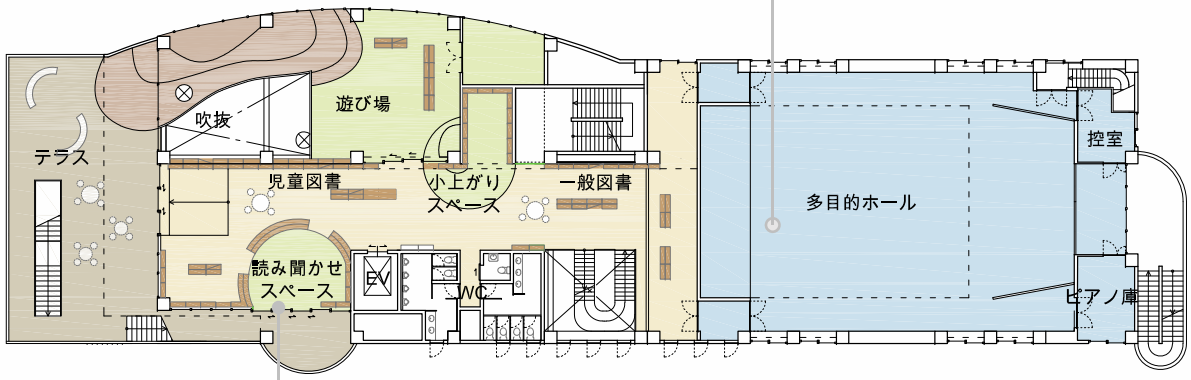
４階平面図

町民にひらかれた多目的ホール

・町民が演者であり観覧者でもあるホール

・室内から東側の景色が唯一無二の空間

・平土間、段床客席の両方のしつらえが可能



親子で楽しめる空間

・親子連れの居場所

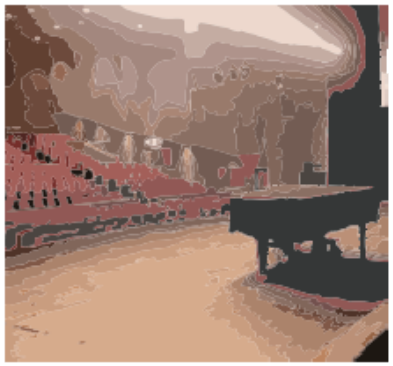
・悩みを相談し協力しあえる安心の場となる

多目的ホール計画（案）

琴浦町の2つのホールから新たなホールを考える

まなタンの多目的ホール

カウベルホール



琴浦町にしかない新しい多目的ホール（案）

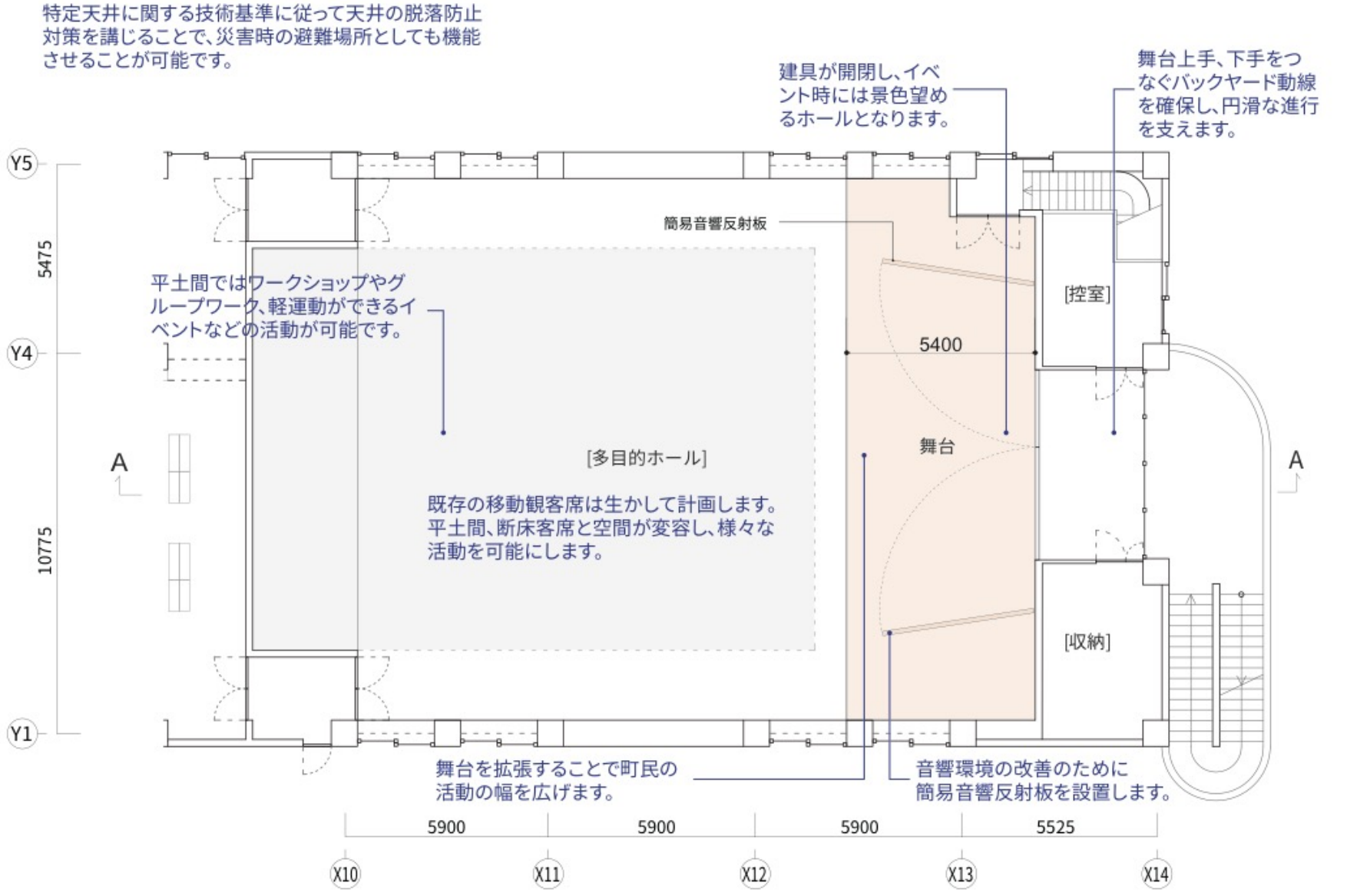
配信で世界とつなぐイベント開催

側面がガラス張の開放的な客席

屋外に設営されるテント劇場

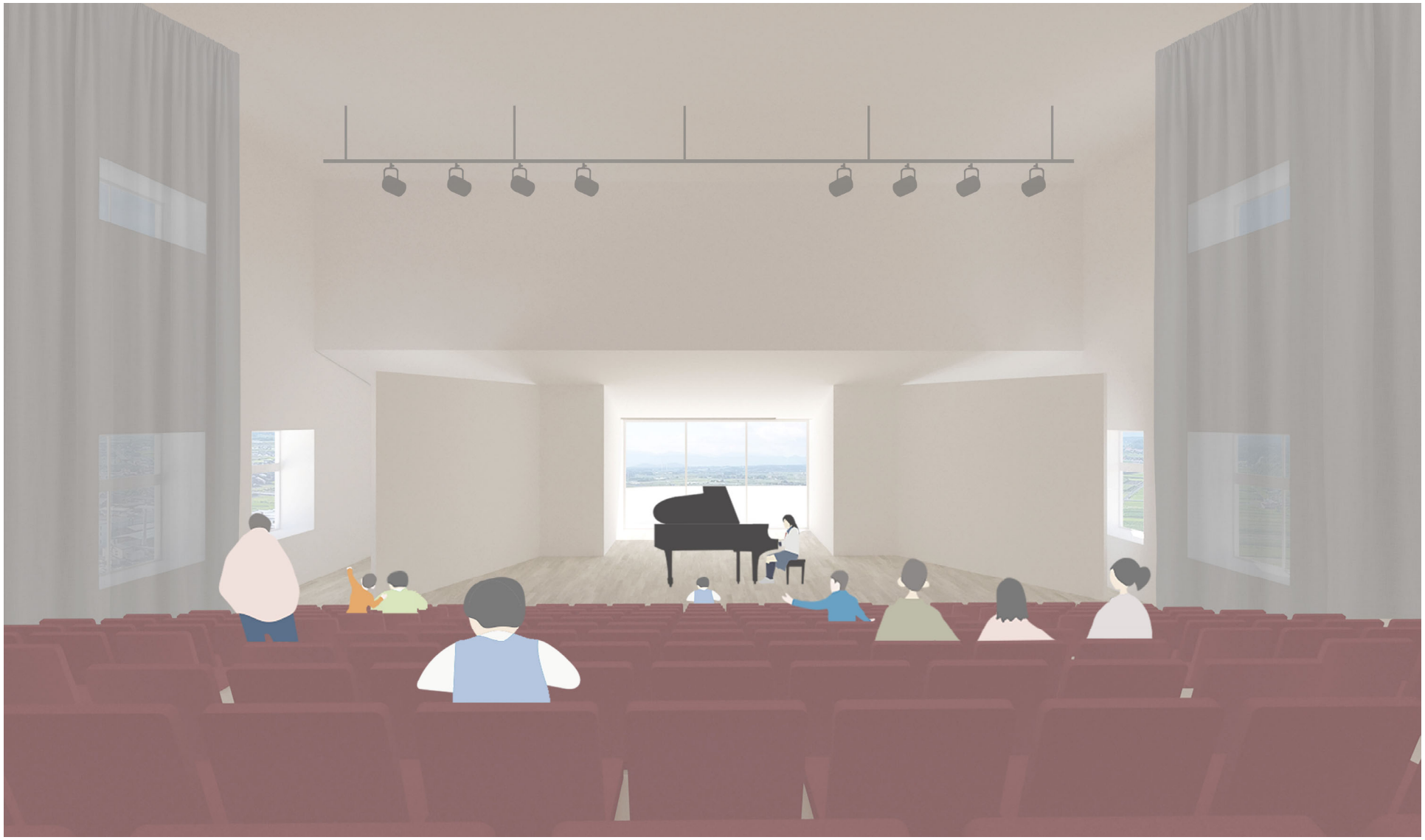
町民が演出家であり、観覧者でもある、多世代が集う多目的ホールを目指します。既存席数である 266 席の移動観覧席により、平土間、断床客席と空間が変容する、様々な利用が可能な多目的ホールとします。舞台背面の建具は開閉できる仕様とし、イベント時には建具を開放し、室内から東側の景色が望める明るいホールを検討していきます。

多目的ホール計画（案）



4F平面図(多目的ホール)

４階イメージ



4階多目的ホール　町民に開かれた明るい場となる

４階イメージ

4F読み聞かせコーナー　親子で楽しめる場となる

5階平面図

静かな展示空間【ギャラリー図書】

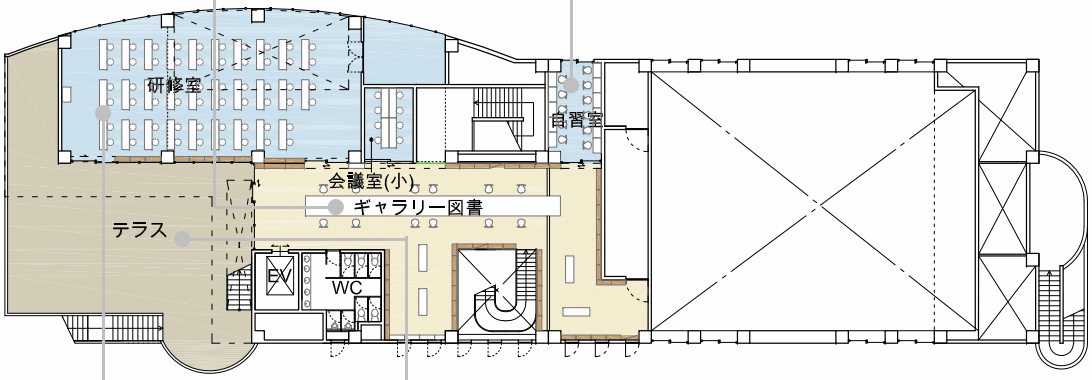
・現在の郷土資料館の展示品を含めた簡易ギャラリーと図書が併設

・展示内容に関連した蔵書計画を検討

多様な学習空間

・音を遮断できる自習室を北側に配置

・町民の多様な要望に対応した学習空間



大人数の活動を可能にする研修室

・既存施設と同規模の会合や研修などが可能な広さを確保

・南側テラスとの一体利用

・パーテーションを用いて部屋を2室に分割可能

景色を楽しむテラス

・町民が自由に利用可能

・大山や日本海を望めるテラス

５階平面図

5階テラス　海と山が臨める最上階のテラス

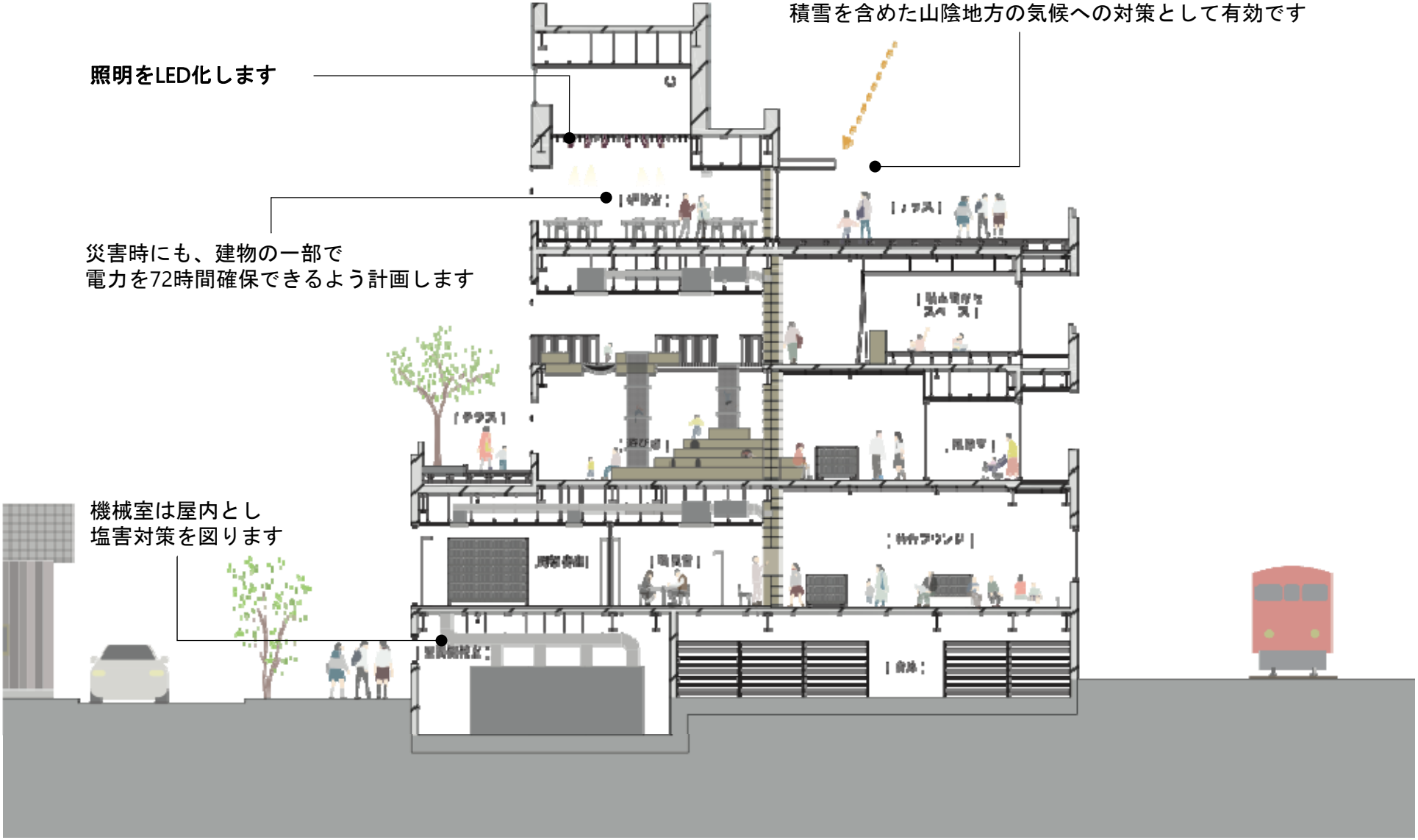
設備計画

深い庇は本焼け等への日射対策や
積雪を含めた山陰地方の気候への対策として有効です

照明をLED化します

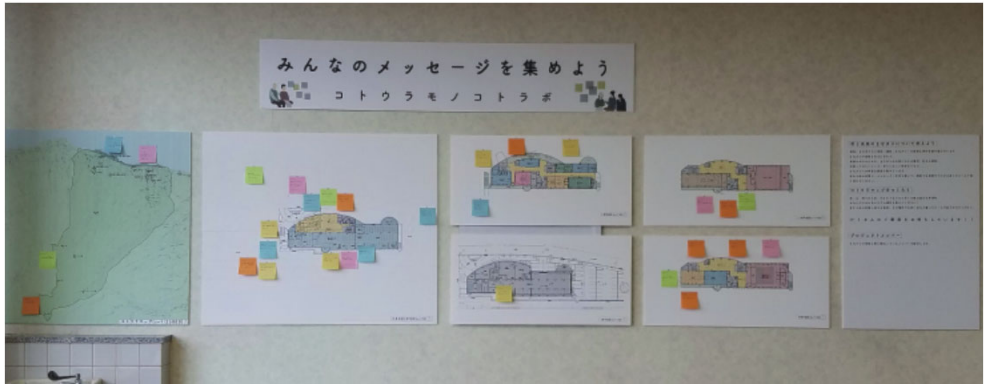
災害時にも、建物の一部で
電力を72時間確保できるよう計画します

機械室は屋内とし
塩害対策を図ります



設計と並行して継続していくコミュニケーション

モノコトラボの活動　（実施設計でも継続予定）



トークイベント（実施設計で開催予定）

新施設に関わる人々

琴浦町町長

琴浦町副町長

琴浦町教育委員長

琴浦町社会教育課

琴浦町社会教育課

琴浦町社会教育課

琴浦町総務課

琴浦町総務課

琴浦町総務課

琴浦町総務課

図書館館長

図書館司書

図書館司書

琴浦町子育て応援課

琴浦町すこやか健康課

琴浦町企画政策課

琴浦町学芸文化係

多目的ホールオペレータ

ワークショップ

ワークショップ

設計（意匠）

設計（意匠）

設計（意匠）

設計（意匠）

設計（意匠）

設計（意匠）

設計（構造）

設計（構造）

設計（電気）

設計（電気）

設計（機械）

地元建築家

多目的ホールデザイン

多目的ホールデザイン

米子高専教師

米子高専生

米子高専生

米子高専生

第2回WS

米子高専生

米子高専生

米子高専生

米子高専生

米子高専生

米子高専生

米子高専生